

公表

## 事業所における自己評価結果(児童発達支援・放課後等デイサービス)

事業所名	なのはな・なのはな栄町・なのはなぶらす	公表日:	2026年 3月 30日
------	---------------------	------	--------------

		チェック項目	スコア			工夫していると思う点	課題や改善が必要と思われる点・その他
			はい	いいえ	どちらとも いえない		
環境・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	20	4	3		・施設内のスペースが限られている。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	15	1	11	・曜日、時間帯により指導員全員が療育に入ってしまうことがあるため、事務から応援を依頼している。 ・体調不良等で休みを取った際、空いている職員に代講してもらい助かっている。	・フィードバック中は人手が足りないと感じることがある。 ・曜日によっては職員が不足し、利用案内ができない状況や見守り職員が不足する時間帯がある。職員の病欠時の対応にも余裕がない。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	19	1	7	・利用者に合わせてパーテーションを使用するなど、療育室の環境を整えている。 ・玄関の段差が大きく、靴を履く課題に取り組みにくいいため、折り畳み式の踏み台を活用している。	・ドアが重たい部屋では、子どもが開ける際に足を挟む恐れがある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	22	1	4	・床に座ることが多い児にはござや畳を使用し、冷えないよう配慮している。	・施設内のスペースが限られている。
業務 改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	24	0	3		
	6	保護者等向け評価表を活用する等により保護者等の意向等を把握し業務改善につなげているか。	25	0	2	・掲示物は見やすく配置を変更し、ホワイトボードに貼るなどして目につきやすくしている。	
	7	この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	25	1	1		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	16	0	11		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	26	0	1	・全体研修や事業所内研修、個人での研修にも参加している。	・研修は会議時にミニ研修でもよいので、もう少し実施してほしい。
適切 な 支 援 の 提 供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、サービス計画を作成しているか。	27	0	0	・ニーズや課題について上位者に相談しながら行っている。	
	11	子供の適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	21	1	5		
	12	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	27	0	0	・前担当からの引き継ぎを重視し、年2回の面談や日々のフィードバックで保護者のニーズや子どもの様子を把握し、課題の抽出と反映に努めている。	
	13	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	19	1	7	・療育内容については指導員同士で意見を出し合い、計画している。	
	14	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	23	0	4	・制作、調理、ゲームなど多様な療育内容を計画している。 ・学習と工作、調理などにメリハリをつけてプログラムを立てている。	・努力しているが、他業務に追われ業務時間内に検討するのが難しい。
	15	平日休日長期休暇に応じた課題を設定して支援しているか。	22	0	5	・長期休暇時にはゲームや調理などのお楽しみ課題を設定している。 ・行事やイベントに合わせて季節感のある課題や活動を取り入れている。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる計画を作成しているか。	24	0	3		
	17	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	17	0	10	・療育開始前に必ず打ち合わせを行っている。	
	18	支援終了後には職員間で必ず打合せをしその日行われた支援の振り返りを行い気づいた点等を共有しているか。	18	0	9	・良かった点や改善点を話し合い、次回の療育に活かしている。	
	19	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	27	0	0	・個別療育、集団療育ともに記録を必ず行っている。	
	20	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか(放)。	27	0	0		
	21	ガイドラインの総則の基本活動を組み合わせ、支援を行っているか。	25	0	2		
22	相談支援事業所の担当者会議があった際は、子どもの状況をよく知ったものが参画している	25	0	2			

		チェック項目	はい	いいえ	どちらとも いいえ	工夫していると思う点	課題や改善が必要だと思われる点・その他		
関係機関・保護者との連携	児	23	母子保健や子ども子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか。	20	1	6		・相手方の協力や時間があれば連携して行う方が望ましい。	
	児	24	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	22	0	5			
	児	25	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	23	0	4			
	放	26	学校との情報共有、連絡調整等を適切に行っているか。	20	0	7	・学校行事等は情報を共有している。		
	放	27	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	17	3	7	・保護者から要望があるケースについては情報共有を行っている。		
	放	28	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	13	2	12	・相手方からの要望に応じて情報を伝えることがある。		
		29	児童発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	19	0	8	・まめの木やひよこ園などの研修会にも参加している。		
	児	30	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や障害のない子どもと活動する機会があるか。	2	16	9			
	放	31	放課後児童クラブや児童館との交流や障害のない子どもと活動する機会があるか。	2	17	8			
		32	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	21	0	6			
		33	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	27	0	0			
		34	保護者の対応力の向上を図る観点から保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っているか。	27	0	0			
	保護者への説明責任		35	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	27	0	0		
			36	支援内容の説明を行い、保護者から支援計画の同意を得ているか。	27	0	0		
		37	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	27	0	0			
		38	父母の会の活動を支援したり保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。	25	0	2	・茶話会等を開催している。		
		39	子どもや保護者からの苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	27	0	0			
		40	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	27	0	0			
		41	個人情報に十分注意しているか。	27	0	0			
		42	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	27	0	0			
非常時等の対応		43	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか。	26	0	1	・定期的に研修を実施し、マニュアルでの確認も行っている。		
		44	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	27	0	0	・年2回訓練を実施している。		
	児	45	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	26	0	1			
		46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に説明し了解を得た上でデイサービス計画に記載しているか。	16	0	11		・身体拘束が必要な利用者はいない。	
		47	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	24	1	2	・研修や毎月の会議で共有している。		
		48	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等適切な対応をしているか。	27	0	0			